この計画書は参考であり、工事の内容、現場状況に応じ適切に作成して下さい。

 参　考

工事件名　○○○○○○工事

塗装工事施工計画書

工事監理　北陸地方整備局営繕部　保全指導・監督室

（又は北陸地方整備局　金沢営繕事務所）

|  |  |
| --- | --- |
| 品質計画について承諾 | 内容の確認 |
| ○○年○○月○○日 | ○○年○○月○○日 |
| 主任監督員 | 監督員 | 監理業務受注者 |
|  |  |  |

提出　　年　　月　　日

承諾　　年　　月　　日

監　理　　○○○○会社

監理業務がある場合のみ記載する。

管理技術者　　　　　○○　○○　印

　　　　　　　　　　　主任技術者　　　　　○○　○○　印

受注者 　　○○○○建設工業(株)

主任（監理）技術者　○○　○○　印

現場代理人　　　　　○○　○○　印

１　一般事項

1.1 総 則

1.1.1 .適用範囲

　　　　この施工計画書は、○○○工事　の施工に適用する。

1.1.2 .適用図書

*※ 「総合施工計画書による」として省略可能*

2 施　工　管　理

2.1 工事内容

*※ 部位毎の種別、規格、計画施工数量等*

（参考記載例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 場　　　　所 | 箇　　　　所 | 内　　　　容 | 数　　量 |
| 内装改修 | ＥＰ―G | せっこうボード面 | 工程B種（一般）素地A種 | 10㎡ |
| SOP（木枠膳板） | 集成材 | 工程B種100ｘ24 | 20ｍ |

2.2 施工管理体制

*※ 施工業者名及び作業の管理組織、「一工程の施工」の確認及び報告を行う者、*

*有資格者一覧表及び免許証写し等（資格が求められる者のみ）*

2.3 工 程 表

*※ 当該工種の施工工程を記載する。*

*※ 色見本の決定、施工（全体、部屋別、階別等）等の時期、「一工程の施工」の*

*検査時期*

2.4 材　　料

2.4.1 材料

*※ 塗装箇所及び下地材による塗料の種別、防火材料の認定の有無、製造所名*

*※ 規格証明書（材料に規格マーク等の表示があるものは省略）*

１．素地ごしらえ（内装せっこうボード）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工　　　　程 | 規格番号 | 規格名称 | 種　　　　類 |
| 素地ごしらえ | 乾燥 | － | － | 　 |
| 汚れ、付着物除去 | － | － | 　 |
| 穴埋め、パテかい | JIS A 6914 | せっこうボード用目地処理材 | ジョイントコンパウンド |
| 研磨紙ずり | 研磨紙　P120～220 |
| パテしごき | JIS A 6914 | せっこうボード用目地処理材 | ジョイントコンパウンド |
| 研磨紙ずり | 研磨紙　P120～220 |

　２．EP-G塗装（内装せっこうボード）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工　　　　程 | 規格番号 | 規格名称 |
| 石こうボード塗装 | 下塗り | JIS K 5663 | 合成樹脂エマルションシーラー |
| 中塗り（１回目） | JIS K 5660 | つや有合成樹脂エマルションペイント |
| 中塗り（２回目） | JIS K 5660 | つや有合成樹脂エマルションペイント |
| 上塗り | JIS K 5660 | つや有合成樹脂エマルションペイント |

 2.4.2 保管

*※ 塗料の保管方法*

2.4 施　工

 2.4.1 作業フロー

*※ 工場及び現場塗装の区分、工法（はけ、ローラー等の別）*

*※ 「一工程の施工」の内容*

１．素地ごしらえ（内装せっこうボード）

|  |  |
| --- | --- |
| 工　　　　程 | 面の処理 |
| 素地ごしらえ | 乾燥 | 継目処理部分を十分乾燥させる。 |
| 汚れ、付着物除去 | 素地を傷つけないように除去する。 |
| 穴埋め、パテかい | 釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。　 |
| 研磨紙ずり | パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。 |
| パテしごき | 全面にパテをしごき取り平滑にする。 |
| 研磨紙ずり | パテ乾燥後、全面を平らに研磨する。 |

２．EP-G塗装（内装せっこうボード）

|  |  |
| --- | --- |
| 工　　　　程 | 工法 |
| 石こうボード塗装 | 下塗り | ローラー塗り |
| 中塗り（１回目） | ローラー塗り |
| 中塗り（２回目） | ローラー塗り |
| 上塗り | ローラー塗り |

2.5 養生

2.5.1 養生

*※ 養生方法（施工中及び完了後）*

3 品　質　管　理

3.1 管理体制

*※ 品質管理体制・管理責任者*

3.2 管理方法

*※ 管理の項目・水準・方法、品質記録文書の書式とその管理方法*

（参考記載例）

作業前に、現場代理人から作業手順の説明後、作業開始

作業員による施工確認（下請の主任技術者が一連の作業を確認）

主任技術者（下請）による確認（チェックリストにより確認）

元請の主任（監理）技術者による施工状況確認（チェックリストにより確認）

（参考記載例）

　２.３．に記載ある一工程毎にチェックリストにより施工の確認を行う。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 確認日 | ○○年○○月○○日 | 現場代理人 | 主任（監理）技術者 | 下請主任技術者 |
| 施工箇所 | ○○○室の塗装 | 　 | 　 | 　 |
| 工程 | 管理項目 | 管理基準 | 管理・確認方法 | 目標値 | 下請作業日毎 | 元請 |
| 1 | 施工条件 | 塗装周辺温湿度の確認 | 　 | 温度５℃以下でないこと。湿度85％以上でないこと　 | 　 | 　 |
| 2 | 材料搬入 | 規格番号、規格名称の確認 |  |  |  |  |
| 3 | 素地確認 | 乾燥の程度脆弱の程度 | 乾燥していること脆弱でないこと | 目視確認指触確認触手確認 | 　 | 　 | 　 |
| 4 | 清掃 | 清掃の程度 | 汚れ・付着物の有無 | 目視確認 | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 材料混練 | 練混ぜ | 練混ぜに不良がないこと | 目視確認 | 塗料が均一に混ざっていること | 　 | 　 |
| 6 | 下塗り | 塗りムラ | 塗りムラがないこと | 目視確認 | 著しいムラがないこと | 　 | 　 |
| 7 | 中塗り | 塗りムラ | 塗りムラがないこと下塗り後６時間以上経過していること | 目視確認 | 著しいムラがないこと | 　 | 　 |
| 8 | 上塗り | 塗りムラ | 塗りムラがないこと中塗り後６時間以上経過していること | 目視確認 | 著しいムラがないこと | 　 | 　 |
| 9 | 検査 | 仕上げ状況使用量確認 | 不良箇所、損傷箇所の有無空缶検収による塗布（使用）量の確認 | 目視・接触確認空缶検収確認 | ○○缶使用していること | 　 | 　 |
| 自主検査指摘事項 | 手直し方法 | 再検査日 |
| 　 | 　 | 　 |

4 安 全 ・　衛生管理

4.1 安全・衛生管理

　*※　総合施工計画書に記載があれば省略可能*

*※　安全管理の方法、緊急時連絡体制*

5 写真撮影

*※　写真撮影の計画書を別に作成した場合は、記載不要。*

　5.1 撮影者

*※　取り忘れを防止するため、誰がいつの段階で撮影するかを記載する。*

（参考記載例）

（１）現場代理人若しくは監理技術者にて撮影する。

　5.2 撮影箇所

　　*※　撮影箇所は、取り忘れ防止や必要箇所以上の撮影の防止するための計画を記載する。*

（参考記載例）

（１）材料搬入時に材料、規格が分かるように撮影する。

　（２）素地ごしらえ→塗装までの一連の作業行程が分かるように撮影する。

　（３）後に確認が不可能な作業工程は、特に重点的に撮影する。

　（４）部位毎の塗装量を確認するため、使用した空き缶数が分かるように撮影する。

　　　　（塗装量管理方法の一つの案）

　（５）・・・